

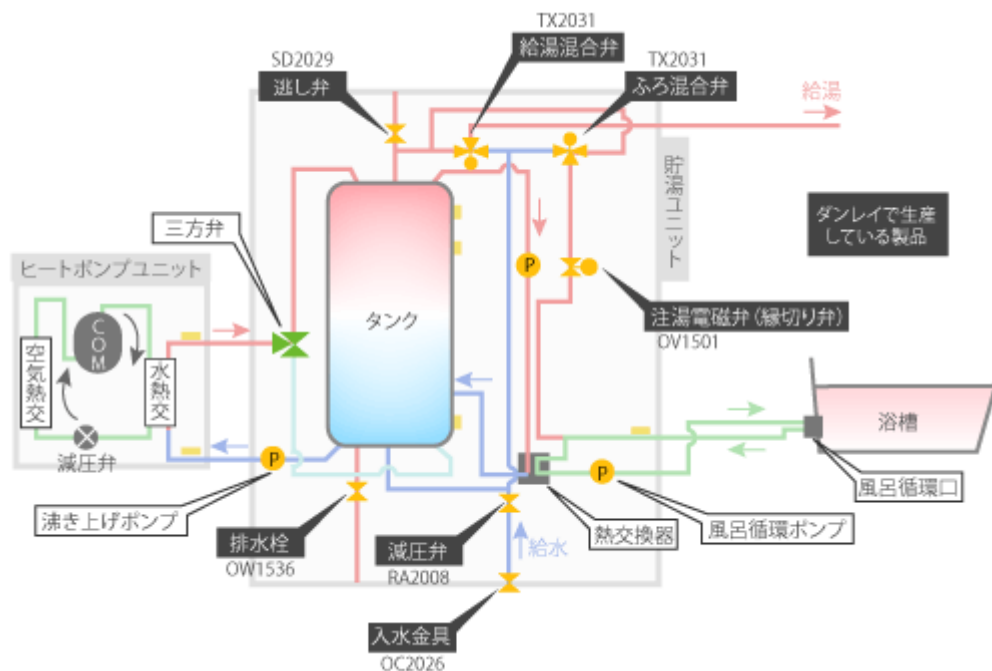
給湯器

給湯器

当社は電気給湯器（エコキュート・電気温水器）の各種機能部品を生産し、高品質、高耐久の安心安全製品を提供させて頂いております。

給湯器用の減圧弁逃し弁の市場シェアは、全体の80～90%をいただいております。

エコキュートへのダンレイ搭載製品



各種機能部品の使用用途は？

給湯器では減圧弁が安全装置として使われます。

減圧弁は給水一次圧を所定（設定圧力）の圧力に保つことで、減圧弁以降に取り付けられた貯湯タンクや配管等を許容圧力以下にし、破損を防止する目的で取り付けられます。

逃し弁は貯湯タンクのお湯がヒートポンプやヒーターで加熱されたときの膨張水を所定の圧力で逃したり、万が一減圧弁が壊れてしまった時にも圧力を逃し、減圧弁以降の部品を守ることが目的で取り付けられます。

また逃し弁は圧力を逃すだけでなく、負圧作動機構が付いたものが一般的に使われます。

この理由は万が一断水など給湯器に負圧がかかった場合は大型タンクは負圧に弱いいため、タンクの破損防止のため必要になります。

いわゆる減圧弁及び逃し弁は電気給湯器のお湯を作るための重要部品です。

そのほかにも台所や浴室のリモコンで設定された温度のお湯をつくる混合弁やメンテナンス時にタンクの排水を行う排水栓、お風呂のお湯の逆流を防ぐ逆流防止機能付き注湯電磁弁等も生産しております。

また樹脂化が困難とされた施工上強度が必要となる給湯器の給水接続口（樹脂入水金具）も技術革新と厳しい評価の繰り返しで、高機能で低コスト化を実現しました。近年給湯器用機能部品の材質は環境に優しくコスパパフォーマンスが高いスーパーエンジニアリングPPSが主流です。

PPSは当社の逃し弁で、常時90℃のお湯と接する厳しい環境の中でも使用していますので実績としても高く、過酷な条件で十分耐えうる材料です。当社は製品設計から金型設計まで行い、成形も自社で行うことで技術及び技能のノウハウを蓄えてきました。

その他樹脂の評価も厳しい社内基準に則り万全の態勢で行います。

今後もみなさまのニーズに応えるため、樹脂化に対する不安を払拭させていただき、製品の樹脂化を実現させていただきます。

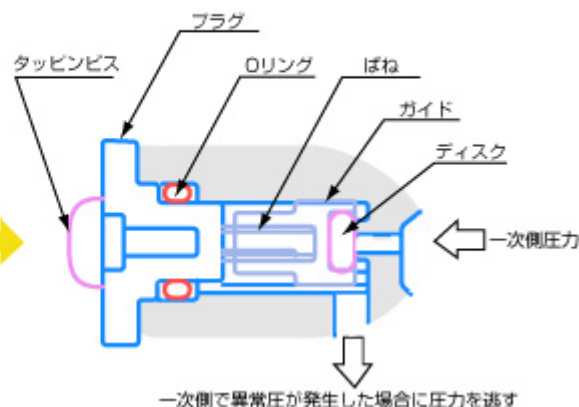
さらに詳しい情報を知りたい方は[こちら](#)よりお問い合わせください。

樹脂減圧弁	樹脂逃し弁	混合栓ユニット	樹脂入水金具
			

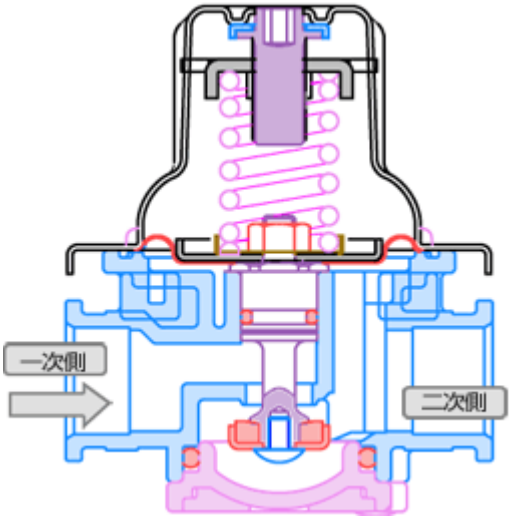
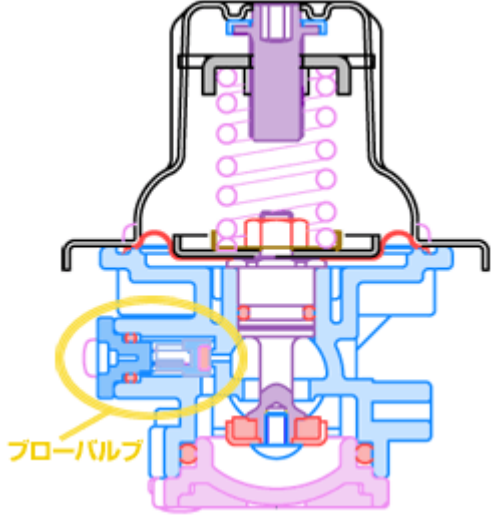
給湯器用樹脂PPS製減圧弁の特長



特許 第4290200号



「ブローバルブ」が樹脂への強度の不安を払拭しました

	
<p>従来型は温度変化や凍結等により一次側圧力が異常に $\square 2\text{MPa}$以上) 上昇する可能性があります</p>	<p>ブローバルブ付は一次側圧力が上昇しても二次側に圧力を逃すため弁箱が破壊するようなことはありません</p>

給湯器用樹脂製逃し弁の特徴

特 徴	
 <p>SD2033ZZ型</p>	<p>□1□ コンパクト設計により、軽量化と高耐久性を実現</p>
	<p>□2□ 密閉式の為、外部漏水なし</p>
	<p>□3□ 負圧作動機構を内蔵することで給湯機缶体を保護（逃し弁弁体と負圧作動弁体が同一のため固着が発生しない）</p>
	<p>□4□ 設定圧力に依存せず安定した手動レバー操作性を実現</p>

さらに詳しい情報を知りたい方は[こちら](#)よりお問い合わせください。